

おんだんカフェ始めます!



台風や豪雨による被害が日常的になってしまった感のある昨今。2020年、温暖化の悪影響を防ぐために世界の国々が取り交わした「パリ協定」がスタートします。離脱を公約とした大統領がいるアメリカで今年9月に行われた「気候行動サミット」では16歳の少女がオトナの気候危機対策の遅れに対して怒りを露わにし、世界の若者たちが気候マーチを各国で行うなど、次世代による気候危機への意識が世界を揺り動かしています。

そもそも温暖化の状況はどうなっているのかや、私たちオトナにどんなことができるのか、していくのかを、もう一度、きちんと、でも堅苦しくなく、考える機会を持ちたいと考えました。3回シリーズで、温暖化をテーマに、聞いて、語り合う「おんだんカフェ」(全3回)を開催します。みなさんのご参加をお待ちしています。

おんだんカフェ Vol. 1

「アル・ゴアに会った4人の話」

元アメリカ副大統領アル・ゴア氏は、気候変動がもたらす危機に向け、世界中のあらゆる人が行動を起こすことをめざした“The Climate Reality Project”を立ち上げています。その修了生は、世界で20,000人に上ります。このプロジェクトの日本初となるトレーニングが今年10月東京で開催されました。トレーニングに参加し、気候危機に希望を持って取り組む力を得た4人(20代、40代、50代、60代)が、トレーニングのこととそれぞれ感じたこと、今とこれからの取り組みについて、お話しします。



宇山生朗さん

北海道地球温暖化防止活動推進センターで、普及啓発や地域調査等に取り組む。現在、北海道に出向中。



佐竹輝洋さん

札幌市で、環境教育や温暖化対策等の環境政策を担当。2015年よりSDGsにも関わり、精力的に活動。



久保田学さん

(公財)北海道環境財団で、主に、政策と地域をつなぐ仕組みづくりやネットワーク活動を実践。



岡崎朱実さん

(特非)北海道グリーンファンドで、子どもから大人まで幅広い層を対象に、家庭での省エネ行動を紹介。

日時：2019年12月16日(月) 18:30-20:30 (*18:15開場)

会場：札幌市環境プラザ環境研修室(北区北8西3札幌エルプラザ2F)

定員：30名(参加費：500円 飲み物・おやつ付き)

申込：011-280-1870(NPO法人北海道グリーンファンド) office@h-greenfund.jp



おんだんカフェ Vol. 2

2020年1月23日(木) 18:30-
「(仮)人間が出した炭素の行方は？」
お話：山中康裕さん

北海道大学院地球環境科学研究院 教授

おんだんカフェ Vol. 3

2020年1月28日(火) 18:30-
「気候変動と札幌の水害リスク」
お話：小林三樹さん

(公財)北海道環境財団理事長